



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日新製鋼株式会社
コード番号 5413 URL <http://www.nisshin-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜 俊典

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 榊 信行

TEL 03-3216-5566

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	119,408	△13.0	278	△72.5	△1,345	—	△1,544	—
28年3月期第1四半期	137,225	△9.2	1,013	△55.8	1,820	40.8	1,243	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △9,812百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 2,953百万円 (268.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△14.09	—
28年3月期第1四半期	11.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	677,724	205,717	29.4
28年3月期	708,167	217,978	29.9

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 199,183百万円 28年3月期 211,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期の配当につきましては、現時点で未定です。配当予想額の開示が可能になり次第、速やかに開示いたします。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	252,000	△8.9	2,500	△60.5	△2,000	—	△3,500	—	△31.93
通期	516,000	△5.7	17,000	68.5	11,500	85.3	7,500	—	68.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	109,843,923 株	28年3月期	109,843,923 株
29年3月期1Q	226,041 株	28年3月期	225,192 株
29年3月期1Q	109,618,226 株	28年3月期1Q	109,623,094 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年6月30日まで）のわが国経済は、個人消費の回復に力強さを欠くなか、企業収益の改善についても足踏みが見られるなど、不安定な動きが強まる展開となりました。

鉄鋼業界におきましても、平成28年熊本地震の影響なども加わり、国内鋼材在庫の調整は一進一退の動きとなっており、海外では中国の過剰生産能力が世界的な問題に発展する中、鋼材市況の一時的な回復を受け、粗鋼生産が再び増加基調で推移するなど、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは需要動向や在庫水準を踏まえた慎重な生産・販売を維持するとともに、グループ一体となった合理化・総コスト削減活動に取り組んでまいりました。しかしながら、原料市況の下落を受けた鋼材市況の低迷や在庫評価損の発生に加え、急激な円高進行による輸出環境の悪化や為替差損の発生等の影響が大きく、当第1四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高1,194億円（前年同期比178億円減収）、営業利益2億円（同7億円減益）、経常損失13億円（同31億円減益）、親会社株主に帰属する四半期純損失15億円（同27億円減益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少（△55億円）、受取手形及び売掛金の減少（△104億円）、投資有価証券の減少（△76億円）等があり、前連結会計年度末（平成28年3月末）より304億円減少し、6,777億円となりました。

負債は、有利子負債の減少（△74億円）等があり、前連結会計年度末より181億円減少し、4,720億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失（△15億円）、その他の包括利益累計額の減少（△82億円）、剰余金の配当（△27億円）等があり、前連結会計年度末より122億円減少し、2,057億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、中国および新興国経済の減速長期化に加え、英国の欧州連合離脱問題を背景とした為替相場や金融資本市場の不安定な動きなど、海外を中心に景気下振れリスクを抱える展開となっております。

鉄鋼業界におきましては、国内鋼材需要は住宅着工数の回復や東京五輪関連の基盤整備需要などに牽引される形で緩やかに回復していくことが期待される一方、中国鉄鋼業の過剰生産問題は構造的な問題であり、解決には一定の時間を要するものと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは本年度を最終年度とする24号中期連結経営計画の完遂に引き続き取り組んでまいります。また、平成29年度以降の将来を見据えた構造改革にもグループ一体で取り組んでいくとともに、いかなる経営環境においても収益を確保できるよう「稼ぐ力」の徹底強化を図ってまいります。

以上の経営環境や施策の取り組みを勘案し、平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の連結業績予想は、売上高2,520億円、営業利益25億円、経常損失20億円、親会社株主に帰属する四半期純損失35億円、平成29年3月期通期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の連結業績予想は、売上高5,160億円、営業利益170億円、経常利益115億円、親会社株主に帰属する当期純利益75億円と、平成28年4月28日に開示した予想数値から修正することといたしました。

なお、当社は、平成28年2月1日に新日鐵住金株式会社（以下、「新日鐵住金」という。）との間で、新日鐵住金が当社を子会社化すること等にかかる検討開始の覚書を取り交わし、以降、協議を進めてまいりました。その結果、両社間で子会社化の具体的な方法、出資の条件等について協議が整ったことか

ら、当社は、平成 28 年 5 月 13 日開催の取締役会決議に基づき、同日に新日鐵住金との間で、子会社化等に関する契約を正式に締結いたしました。

今後、新日鐵住金は、国内外の競争法に基づく一定の手続き等を終えた後に、当社の普通株式に対する公開買付けおよび当社による第三者割当増資への払込み手続きを経て、当社の発行済株式総数の 51.00%に至る株式を取得することにより、平成 29 年 3 月を目途に当社を新日鐵住金の子会社とする予定です。なお、この一連の取引後も、当社は、株式会社東京証券取引所市場第一部における上場を維持する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社である日新製鋼建材株式会社は、平成28年4月1日付で当社の市川製造所を含む塗装・建材市場に係わる鋼板製造販売事業を承継したことを契機に、同社の事業環境等を総合的に勘案し、同社が保有する設備の一部について、当第1四半期連結会計期間より残存価額を備忘価額に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が399百万円増加し、営業利益が215百万円減少、経常損失および税金等調整前四半期純損失が251百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,440	25,849
受取手形及び売掛金	77,581	67,141
たな卸資産	124,776	126,425
その他	26,059	19,633
貸倒引当金	△457	△448
流動資産合計	259,400	238,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	75,305	74,112
機械装置及び運搬具(純額)	108,494	105,577
土地	71,828	71,818
その他(純額)	10,108	12,743
有形固定資産合計	265,736	264,251
無形固定資産	13,088	13,143
投資その他の資産		
投資有価証券	115,066	107,375
退職給付に係る資産	22,585	22,630
その他	33,026	32,461
貸倒引当金	△735	△740
投資その他の資産合計	169,942	161,727
固定資産合計	448,767	439,122
資産合計	708,167	677,724
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,436	84,904
短期借入金	76,032	64,107
コマーシャル・ペーパー	-	4,000
1年内償還予定の社債	10,000	30,000
引当金	181	179
その他	45,666	38,225
流動負債合計	219,316	221,418
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	153,495	153,974
特別修繕引当金	8,590	8,590
その他の引当金	1,410	1,387
退職給付に係る負債	48,300	48,807
その他	19,075	17,829
固定負債合計	270,872	250,589
負債合計	490,189	472,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	76,345	76,345
利益剰余金	78,214	73,925
自己株式	△549	△550
株主資本合計	184,010	179,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,333	11,640
繰延ヘッジ損益	△651	△786
土地再評価差額金	405	405
為替換算調整勘定	15,698	10,256
退職給付に係る調整累計額	△2,102	△2,052
その他の包括利益累計額合計	27,684	19,463
非支配株主持分	6,283	6,534
純資産合計	217,978	205,717
負債純資産合計	708,167	677,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	137,225	119,408
売上原価	123,939	107,125
売上総利益	13,286	12,282
販売費及び一般管理費	12,272	12,004
営業利益	1,013	278
営業外収益		
受取利息	43	38
受取配当金	1,500	791
持分法による投資利益	198	-
為替差益	519	-
その他	542	304
営業外収益合計	2,804	1,133
営業外費用		
支払利息	1,058	999
持分法による投資損失	-	304
出向者労務費差額負担	555	671
為替差損	-	383
その他	383	399
営業外費用合計	1,997	2,757
経常利益又は経常損失(△)	1,820	△1,345
特別損失		
固定資産除売却損	17	100
特別損失合計	17	100
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,803	△1,445
法人税等	472	47
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,330	△1,493
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	51
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,243	△1,544

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,330	△1,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,646	△2,608
繰延ヘッジ損益	△189	△153
為替換算調整勘定	△1,228	△1,186
退職給付に係る調整額	△279	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△325	△4,413
その他の包括利益合計	1,622	△8,319
四半期包括利益	2,953	△9,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,105	△9,765
非支配株主に係る四半期包括利益	△152	△46

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

I. 平成28年度第1四半期決算

1. 損益状況等

(億円)

	No	H28年度 4-6月 (実績) a	H27年度 4-6月 (実績) b	差異 a-b
売上高	1	1,194	1,372	▲ 178
営業利益	2	2	10	▲ 8
経常利益	普通鋼・特殊鋼	12	38	▲ 26
	ステンレス	▲ 25	▲ 20	▲ 5
	計	▲ 13	18	▲ 31
親会社株主に帰属する四半期純利益	6	▲ 15	12	▲ 27
在庫評価	普通鋼・特殊鋼	▲ 15	▲ 10	▲ 5
	ステンレス	▲ 15	▲ 15	0
	計	▲ 30	▲ 25	▲ 5
経常利益 <実カベース>	普通鋼・特殊鋼	27	48	▲ 21
	ステンレス	▲ 10	▲ 5	▲ 5
	計	17	43	▲ 26

2. 諸元

	No	H28年度 4-6月 (実績) a	H27年度 4-6月 (実績) b	差異 a-b
粗鋼生産量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	68	79	▲ 11
	ステンレス	18	15	3
	計	86	94	▲ 8
販売数量 (万ト)	普通鋼・特殊鋼	70	74	▲ 4
	ステンレス	12	12	0
	計	82	86	▲ 4
鋼材平均単価 (千円/ト)	7	109	124	▲ 15
輸出比率 (金額ベース, %)	8	15	17	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)	9	108	121	▲ 13

3. 経常利益差異内訳

①H27年度4-6月(実績) 対 H28年度4-6月(実績)

(億円)

(内ステンレス)

H27年度4-6月(実績)	18	変動要因	▲ 20
変動要因	▲ 160	価格差▲125、数量構成差▲20、輸出為替差▲15	▲ 70
	155	鉄鉱石 35、石炭 15、油類 15、ニッケル原料 45、輸入為替差 20	80
	▲ 16	定期修繕影響等	▲ 5
	▲ 5	子会社等	▲ 10
	▲ 5	▲25→▲30(内ステンレス▲15→▲15)	0
計	▲ 31		▲ 5
H28年度4-6月(実績)	▲ 13		▲ 25

4. 貸借対照表 (H28年6月末)

(億円)

		対H28/3末				対H28/3末	
現預金	258	▲	55	有利子負債	2,720	▲	74
売上債権	671	▲	104	その他の負債	1,999	▲	107
たな卸資産	1,264		16	負債合計	4,720	▲	181
その他流動資産	191	▲	64	資本金・資本剰余金	1,063		-
有形・無形固定資産	2,773	▲	14	利益剰余金	739	▲	42
投資等	1,617	▲	82	自己株式	▲ 5	▲	0
				その他の包括利益			
				累計額	194	▲	82
				非支配株主持分	65		2
資産合計	6,777	▲	304	純資産合計	2,057	▲	122
				負債・純資産合計	6,777	▲	304

II. 平成28年度業績予想

1. 損益状況等

(億円)

	No	H28年度(今回予想)			H28年度(前回予想)		差異		
		上期 a	下期 b	c	通期 d	上期 e	① a-e	② b-a	③ c-d
売上高	1	2,520	2,640	5,160	5,210	2,540	▲ 20	120	▲ 50
営業利益	2	25	145	170	255	90	▲ 65	120	▲ 85
経常利益	3	40	110	150	215	75	▲ 35	70	▲ 65
普通鋼・特殊鋼	4	▲ 60	25	▲ 35	▲ 15	▲ 25	▲ 35	85	▲ 20
ステンレス	5	▲ 20	135	115	200	50	▲ 70	155	▲ 85
計	6	▲ 35	110	75	145	30	▲ 65	145	▲ 70
親会社株主に帰属する当期純利益	6	▲ 35	110	75	145	30	▲ 65	145	▲ 70
在庫評価	7	▲ 15	▲ 15	▲ 30	▲ 50	▲ 35	20	0	20
普通鋼・特殊鋼	8	▲ 55	5	▲ 50	▲ 25	▲ 20	▲ 35	60	▲ 25
ステンレス	9	▲ 70	▲ 10	▲ 80	▲ 75	▲ 55	▲ 15	60	▲ 5
計	9	▲ 70	▲ 10	▲ 80	▲ 75	▲ 55	▲ 15	60	▲ 5
経常利益	10	55	125	180	265	110	▲ 55	70	▲ 85
普通鋼・特殊鋼	11	▲ 5	20	15	10	▲ 5	0	25	5
ステンレス	12	50	145	195	275	105	▲ 55	95	▲ 80
計	12	50	145	195	275	105	▲ 55	95	▲ 80

2. 諸元

	No	H28年度(今回予想)			H28年度(前回予想)		差異		
		上期 a	下期 b	c	通期 d	上期 e	① a-e	② b-a	③ c-d
粗鋼生産量	1	151	163	314	324	163	▲ 12	12	▲ 10
(万トン)	2	36	35	71	68	35	1	▲ 1	3
ステンレス	3	187	198	385	392	198	▲ 11	11	▲ 7
計	3	187	198	385	392	198	▲ 11	11	▲ 7
販売数量	4	150	157	307	307	150	0	7	0
(万トン)	5	28	31	59	57	27	1	3	2
ステンレス	6	178	188	366	364	177	1	10	2
計	6	178	188	366	364	177	1	10	2
鋼材平均単価	7	107	111	109	110	110	▲ 3	4	▲ 1
(千円/トン)	8	15	15	15	15	15	0	0	0
輸出比率	8	15	15	15	15	15	0	0	0
(金額ベース、%)	9	106	105	106	110	110	▲ 4	▲ 1	▲ 4
輸出為替レート	9	106	105	106	110	110	▲ 4	▲ 1	▲ 4
(円/ドル)									

3. 経常利益差異内訳

①H28年度上期(前回予想) 対 H28年度上期(今回予想)

(億円)

(内ステンレス)

H28年度上期(前回予想)		50	変動要因		▲ 25
要 因	販売関連	▲ 50	価格差▲20、数量構成差▲20、輸出為替差▲10		▲ 20
	購買関連	25	石炭▲5、ニッケル原料 15、輸入為替差 30		20
	コスト等	▲ 30	定期修繕影響等		5
	子会社等	0			▲ 5
	在庫評価	▲ 15	▲55→▲70(内ステンレス▲20→▲55)		▲ 35
	計	▲ 70			▲ 35
H28年度上期(今回予想)		▲ 20			▲ 60

②H28年度上期（今回予想） 対 H28年度下期（今回予想）

(億円) (内ステンレス)

H28年度上期(今回予想)	▲ 20	変動要因	▲ 60
変動要因	90	価格差 50、数量構成差 40	30
販売関連	▲ 35	鉄鉱石▲20、石炭▲5、ニッケル原料▲15、油類▲15、輸入為替差 30	▲ 15
購買関連	40		0
コスト等	0		10
子会社等	60	▲70→▲10(内ステンレス▲55→5)	60
在庫評価	155		85
計	135		25
H28年度下期(今回予想)			

③H28年度通期（前回予想） 対 H28年度通期（今回予想）

(億円) (内ステンレス)

H28年度通期(前回予想)	200	変動要因	▲ 15
変動要因	▲ 50	価格差▲15、数量構成差▲10、輸出為替差▲25	▲ 20
販売関連	▲ 10	鉄鉱石▲30、油類▲20、亜鉛▲15、ニッケル原料 15、輸入為替差 55	30
購買関連	▲ 20	定期修繕影響等	▲ 5
コスト等	0		0
子会社等	▲ 5	▲75→▲80(内ステンレス▲25→▲50)	▲ 25
在庫評価	▲ 85		▲ 20
計	115		▲ 35
H28年度通期(今回予想)			

4. 株主還元

当期の配当については、現時点で未定。配当予想額の開示が可能となり次第、速やかに開示いたします。

〔参考〕有利子負債・ネットD/Eレシオ

	H27/3末	H28/3末	H28/6末
手許預金(億円)	263	314	258
有利子負債(億円)	2,898	2,795	2,720
ネットD/Eレシオ	1.00	1.17	1.24
〃 (格付ベース) ※	0.86	0.98	1.03

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ

(H27/3末、H28/3末およびH28/6末について、400億円の50%をそれぞれ資本に算入)

以上